

平成21年第3回

鬼北町議会定例会

第3回鬼北町議会定例会が、9月18日、25日の2日間開催されました。議案11件、認定15件、請願2件、同意2件、意見書1件が提案され、請願の1件を除いて、全て原案どおり可決・認定されました。

◎議案（11件）

- ▼鬼北町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- ▼財産（鬼北町立広見中学校スクールバス（2号車））の取得について
- ▼財産（鬼北町立広見中学校スクールバス（3号車））の取得について
- ▼財産（鬼北町立小・中学校ピアノ）の取得について
- ▼宇和島地区広域事務組合規約の一部変更について
- ▼平成21年度鬼北町一般会計補正予算（第3号）について
- ▼平成21年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- ▼平成21年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）について
- ▼平成21年度鬼北町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- ▼平成21年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）について
- ▼財産（四国電力旧広見お客様センター建物）の取得について
- ◎認定（15件）
- ▼平成20年度鬼北町一般会計決算の

認定について

- ▼平成20年度鬼北町用品調達特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町老人保健特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町国民健康保険特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町成川溪谷休養センター特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町節安ふれあいの森特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町介護保険特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町日吉簡易水道特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町水道事業会計決算の認定について
- ▼平成20年度鬼北町病院事業会計決算の認定について
- ◎請願（2件）

- ▼「核兵器全面禁止・廃絶国際条約締結を求める意見書」採択についての請願について……………不採択
- ▼「中山間地域等直接支払制度継続・拡充に関する要請」の請願について
- ◎同意（2件）
- ▼鬼北町副町長の選任について
- ▼鬼北町教育委員会委員の任命について
- ◎意見書（1件）
- ▼中山間地域等直接支払制度継続拡充に関する意見書（案）について

一般質問

程内 覺 議員

◎町立病院の対応について
◎新型インフルエンザの対応について

答当町においては、5月26日に「鬼北町新型インフルエンザ対策本部」を設置し、具体的な行動計画を定め、関係者に周知を図り、万が一の事態に備えることにしている。

厚生労働省は、都市部において集団発生が急増しており、今後も感染の拡大が続くと見込んでいますが、当町における新型インフルエンザ対策としては、手洗い、うがいの徹底などの感染予防対策に取り組むとともに、感染拡大防止対策として、今後、宇和島保健所を中心とした第二次医療圏での医療連携体制をより一層強めていくことで対応したいと考えています。

町内の診療所・民間医療機関と町立病院との連携については、日頃から十分な連絡体制が確保されている

と認識している。しかし、更なる医療連携体制を構築していくためには、現在、定期的に開催している「病院・診療所医師連絡会」等により、緊密な連携を深めることが出来るものと考えている。

問看護師等の人員不足について。

答平常時の入院及び外来患者数に対しては充足できているが、重篤なインフルエンザ患者の入院については、現在の看護体制とは別の体制をとる必要があるため、それに対応できるだけの看護師の人員確保は出来ない。また、人工呼吸器等の設備も不足することが予想されることから、入院患者を受入れることは容易でないため、重篤なインフルエンザ患者については、市立宇和島病院等に願うことになると考えている。

◎小松商店街について

問工事等による舗装路面の整備について。

答現地調査を行ったが、この路線は、国道当時にアスファルト舗装工事が施工されたものであり、その後、平成16年に、町が水道施設整備工事にかかるアスファルト舗装復旧工事として施工したものである。

全体延長約540mの区間の舗装路面の状況を調査したところ、国道当時に舗装している部分について、小さな連続するひび割れが入っている箇所が4〜5箇所見受けられる。延長的には約60m程度であるが、全体的に路盤自体の変状はないものと思われる。

水道配水管を町道全区間に布設したために、その掘削幅を復旧舗装した部分と、給水管を町道に横断させ